

二級水系における流域治水の取組

令和 3 年 6 月

京都府建設交通部

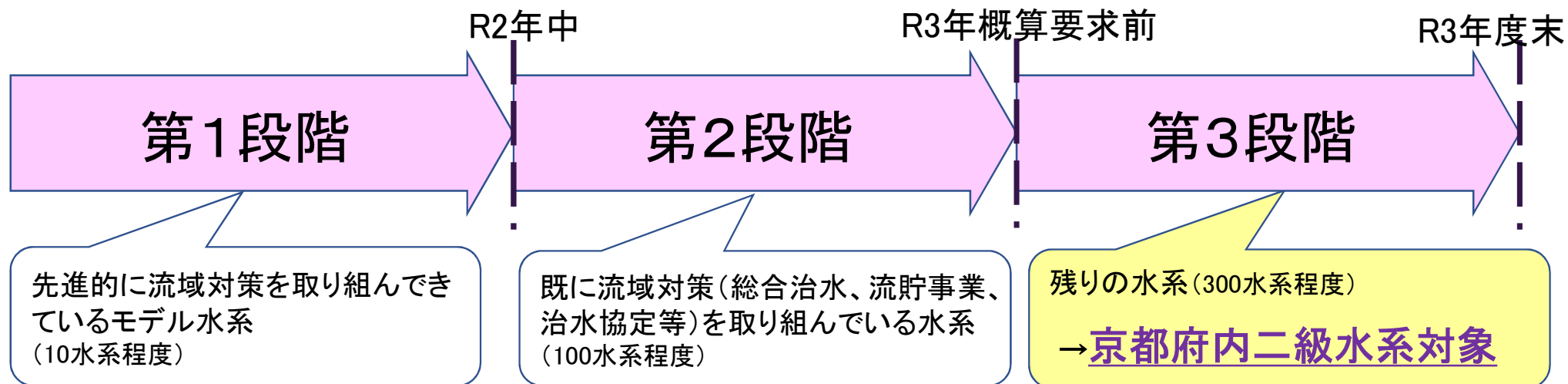


1. 二級水系における流域治水の推進

● 二級水系における流域治水プロジェクト策定の進め方（全国）

（令和2年10月27日付け通知文(国水河計第39号 他)より）

- 対象は、河川整備計画(策定予定含む)に基づき河川整備を予定している水系（400水系程度）
- プロジェクトの策定・公表は、水系ごとが基本
- 協議会の設置は、既存の協議会等の枠組みを活用することなど検討のうえ、地域の実情に応じて柔軟に対応する。なお、砂防・農業・まちづくり部局などの都道府県内の部局の参画や市町村との合意は必須
- プロジェクトの策定・公表の段階は、下図の3段階

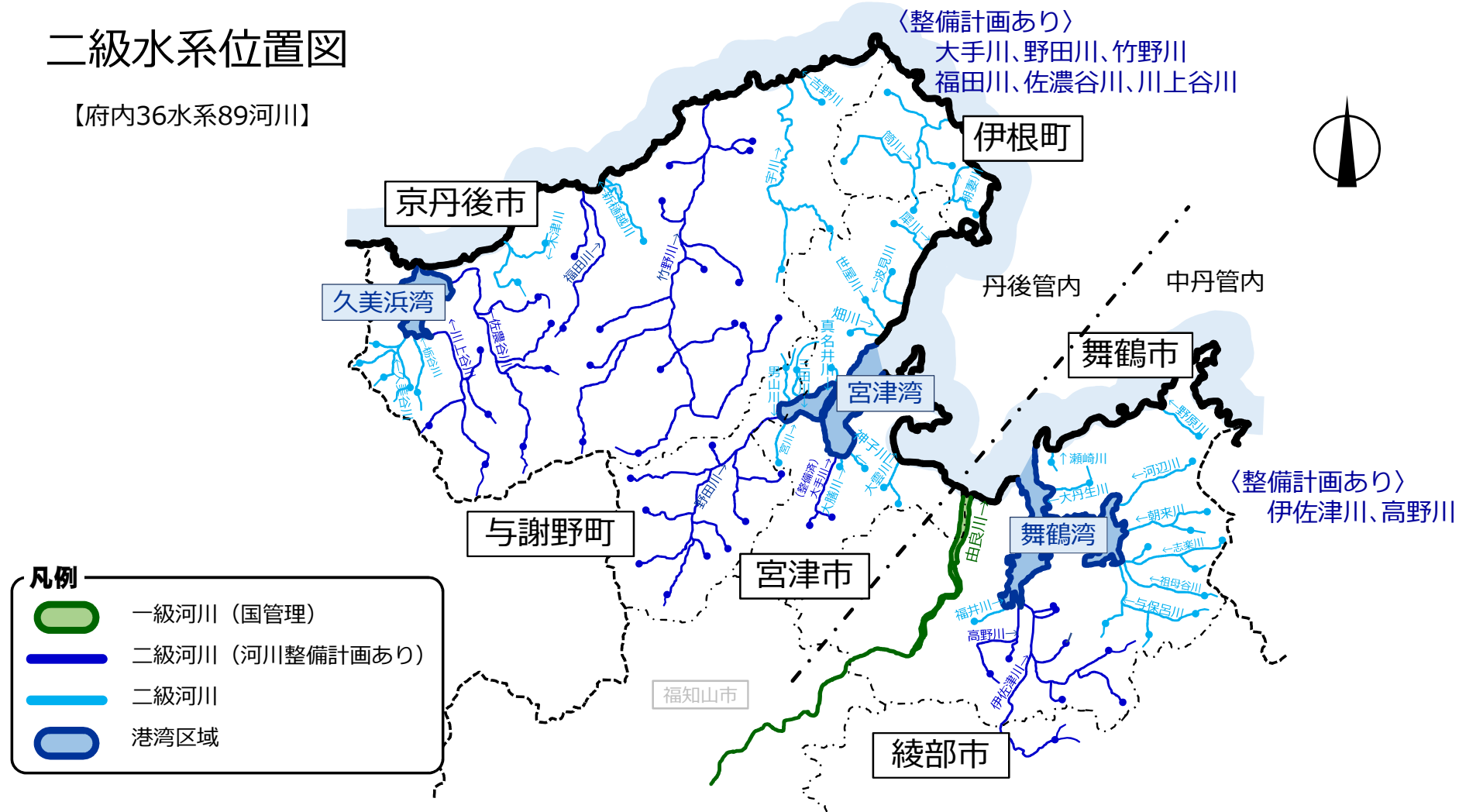


（令和2年10月27日付け通知文(国水河計第39号 他)をもとに作成）

1. 二級水系における流域治水の推進

二級水系位置図

【府内36水系89河川】



京都府が管理している二級水系位置図

1. 二級水系における流域治水の推進

●二級水系における流域治水プロジェクト策定の進め方（京都府域）

- 京都府が管理する二級水系（36水系）のうち、河川整備計画に基づき河川整備を予定している水系（8水系）を優先

※ 京都府においては、近年の出水において大規模な人家浸水被害が発生した河川において、河川整備計画を策定し、改修を実施

- 振興局単位で流域治水協議会を設置（令和3年1月29日）

中丹管内

水系名	流域市町	備考
伊佐津川	舞鶴市、綾部市	
高野川	舞鶴市	

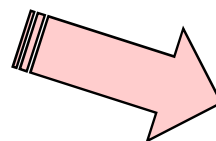
残る28水系においても、順次流域治水の取組を推進する

丹後管内

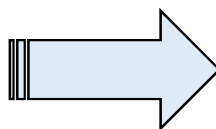
水系名	流域市町	備考
大手川	宮津市	一定整備済み
野田川	宮津市、与謝野町	
竹野川	京丹後市	
福田川	京丹後市	
佐濃谷川	京丹後市	
川上谷川	京丹後市	

2. 協議会における検討事項

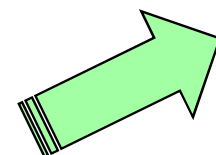
■ 氾濫をできるだけ防ぐ・
減らすための対策



■ 被害対象を減少させるた
めの対策



■ 被害の軽減、早期復旧
復興のための対策



流域のあらゆる関係
者による防災・減災
に資する対策のとり
まとめ

2. 協議会における検討事項

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策の例



河川整備計画に基づく対策内容

【平常時】



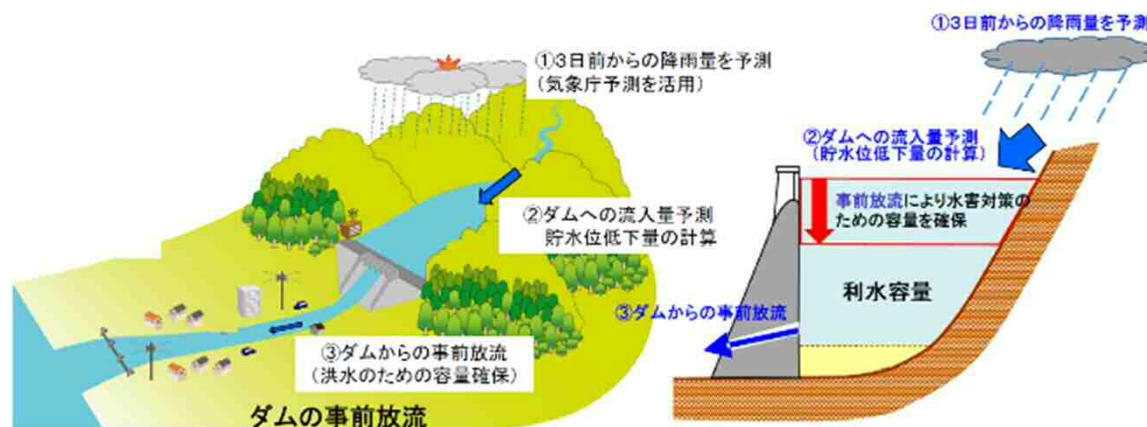
【出水時】



雨水貯留施設の整備



堆積土砂撤去



既存ダムにおける事前放流

(国土交通省ウェブサイトhttps://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/pdf/01_kangaekata.pdfより)

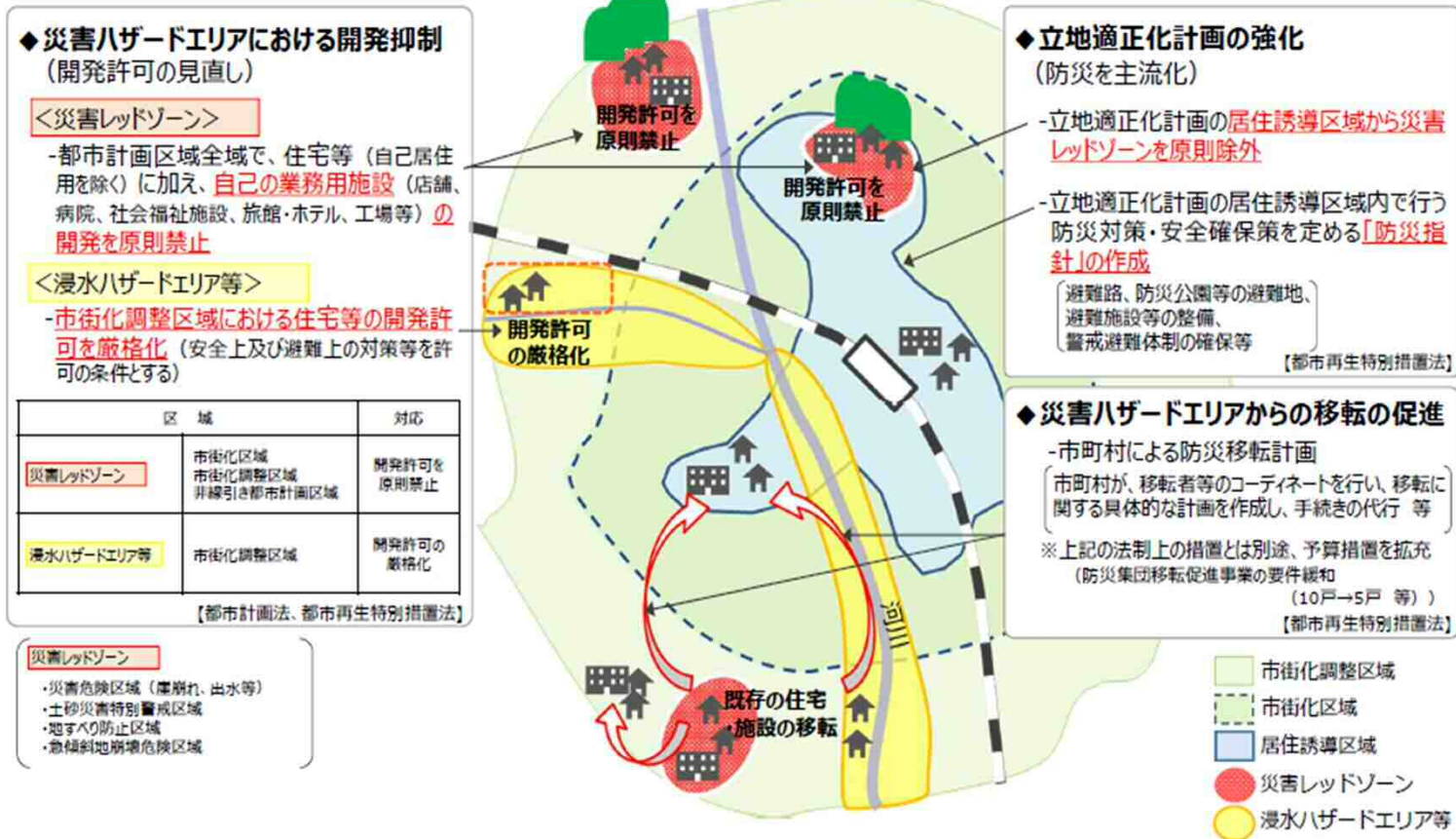
2. 協議会における検討事項

被害対象を減少させるための対策の例

頻発・激甚化する自然災害に対応するための、

- ・ 災害ハザードエリアにおける開発抑制
- ・ 移転の促進
- ・ 立地適正化計画と防災との連携強化 など

安全なまちづくりのための総合的な対策



2. 協議会における検討事項

被害の軽減、早期復旧復興のための対策の例

○大規模氾濫減災対策協議会の取組

○河川の水位変化と洪水時に得られる情報とマイ・タイムラインの作成



これらの情報を基に
防災行動計画を作成

一人ひとりのマイ・タイムライン(イメージ)

国	市	住民等
3日前		テレビの天気予報を注意。 ハザードマップで避難所を確認！ 非常持出袋の準備 足りない物を買出し！ 川の水位をインターネットで確認。
洪水予報	避難準備	おじいちゃんと一緒に 早めの避難開始！
洪水予報	避難開始	避難所に避難完了
氾濫発生		

マイ・タイムラインの検討の過程で

「リスクを認識」

知る・気づく

- ・自分の家が浸水してしまう
- ・避難所まで遠い 等

「逃げるタイミングがわかる」

考える

- ・いつ逃げる？
- ・誰と逃げる？
- ・危険な場所をよけて逃げるには？

「コミュニケーションの輪が広がる」

- ・意見交換などで、知り合いになれる 等

マイ・タイムラインができると…

- ① 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- ① 災害時の判断をサポート

逃げ遅れゼロ

(国土交通省ウェブサイトhttps://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/pdf/01_kangaekata.pdfより)

2. 協議会における検討事項

■ ロードマップ

目標達成に向けた工程を段階的に示し、実施主体間の連携を促進

例) 北川流域治水プロジェクト (福井県内)

短期や中長期における主な対策内容等について記載

● 北川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。あわせて、一部の氾濫原における洪水氾濫を許容する霞堤を維持保全する地域特性を踏まえ、更に輪中堤の整備と土地利用規制による流域対策や、安全なまちづくり(立地適正化計画に基づく防災指針の検討等)や既存ダムでの事前放流等の流域における対策、地区タイムラインの活用等のソフト対策を実施。SDGsに位置付けた持続可能な流域治水により、福井県の幸福度日本一の担保に寄与。

【短期】 河床掘削(水取地区・高塚地区)と遠敷川合流点の水位低下方策の整備及び輪中堤の整備により、浸水リスクを低減。

【中長期】 北川全域で必要な「堤防拡築」により、流域全体の治水安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期(5年程度)	中長期(整備計画完了)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河床掘削	福井河川国道事務所	水取地区 高塚地区	河床掘削完成 水位低下方策完成
	下水道設	小浜市		堤防拡築・堤防強化完成 遠敷川合流点
	砂防・治山・森林整備(間伐等)	福井県・滋賀県・市町・福井森林管理署・森林整備センター等		堤防拡築・堤防強化 下水道設 砂防・森林整備
被害対象を減少させるための対策	災害危険区域	小浜市		
	土地利用規制・誘導(災害危険区域等)検討	各県市町・河川管理者		
	立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討	小浜市		
	霞堤維持保全	福井河川国道事務所・小浜市・若狭町		
輪中堤	福井県			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害軽減対策・早期復興支援	全ての関係機関・福井県防災士会・福井県建築士会		

各対策における実施主体や具体的内容、その実施時期などを記載

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

短期 : 概ね5年程度で実施する対策を記載
中長期 : 各機関で実施する計画が完了する期間

3. 流域治水プロジェクト策定の進め方

